

令和２年度 第６回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和２年９月１０日（木）	教 育 長 坂 元 裕 人	教育総務課長 鹿 屋 勉
午後２時００分	教 育 委 員 田 原 正 人	学校教育課長 今 井 誠
↓		
午後３時３０分	教 育 委 員 葛 迫 幸 平	社会教育課長 紺 屋 昭 男
第１研修室	教 育 委 員 田之上 厚美	国体推進課長 米 田 昭 嗣
	教 育 委 員 福 里 由 加	

会 議 要 旨

１ 開 会

定刻、定足数に達しており、令和２年度第６回教育委員会定例会を開会した。

２ 令和２年度第５回定例会会議録の承認

３ 議 事

報告第２７号 令和２年度垂水市一般会計補正予算（第８号）案についての市長への
意見申出について

報告第２８号 たるみず学生生活支援宅配便事業実施要綱の制定について

報告第２９号 垂水市新型コロナウイルス感染症対応学校給食費臨時支援金支給要綱
の制定について

４ その他

５ 委員並びに教育長及び課長報告

６ 閉 会

議 決 事 項

件 名	提案理由	審議の状況	採決の次第
報告第27号 令和2年度垂水市一般会計補正予算（第8号）案についての市長への意見申出について	令和2年度垂水市一般会計補正予算（第8号）案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
報告第28号 たるみず学生生活支援宅配便事業実施要綱の制定について	たるみず学生生活支援宅配便事業実施要綱について、教育長の臨時代理により制定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	
報告第29号 垂水市新型コロナウイルス感染症対応学校給食費臨時支援金支給要綱の制定について	垂水市新型コロナウイルス感染症対応学校給食費臨時支援金支給要綱について、教育長の臨時代理により制定したこと、及びその内容について報告するものである。	特記事項なし	

議 事 内 容 等

3 議 事	
	報告第 27 号 令和 2 年度垂水市一般会計補正予算（第 8 号）案についての市長への意見申出について
教育総務課長	補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したことを報告するとともに、その内容（GIGA スクール構想によるタブレット端末購入・校内ネットワーク整備、廃棄物焼却炉ダイオキシン類調査及び除去・撤去、及び市民館耐震工事等に要する補正）について説明。
教育長	GIGA スクール構想は、児童・生徒に一人 1 台のタブレットを配布し授業の中で効果的・効率的に使っていこうというものだ。I C T の世の中を生きていくには必ず身に着けていかなければならない能力だと認識している。明日、予算案が総務文教委員会で審議されるが、関係予算が多額であり、加えて 5 年後の更新時の財源担保が国から明確にされていない。その点について、いろいろな質問が出るであろうと予想している。
田原委員	これまでもタブレットは各学校に導入されていた。今回、タブレットを児童・生徒全員へというかたちで充実していくことが目的だと思うが、その内容について、もう少し詳しく説明をお願いしたい。
学校教育課長	国の構想にもあるが、垂水市にはまさにその構想が当てはまると思っ ている。垂水市には小規模校が多いが、小規模校同士あるいは小規模校と垂水小学校とを高速大容量のネットをつなぎ、タブレットを活用した同じ内容の授業をリアルタイムで受けることが可能となる。また、タブレットと併用する形で各教室に大画面モニターを整備する予定である。
田之上委員	家庭の環境などによりタブレットの使い方に不慣れな子どもたちも出てくるのではないかと心配している。何か対策を考えているか。
学校教育課長	導入当初は、教師は全員体制で取り組むようにと考えている。子どもたち全員が使えるようになることが大切であり、徹底してやっていきたい。 また、タブレットを家庭に持ち帰らせたいと考えているが、委員が言われるように家庭環境が問題となってくる。その点についても検討をはじめており、すでに家庭におけるネット環境の調査は実施している。家庭のネット環境が整っていない子どもたちには、学校施設を開放したり、公民館など公共施設へ Wi-Fi 設備を整備して学びの保証をすることを考えている。
田原委員	市民館の耐震工事が予算にあるが、他の公民館の耐震工事も予定されているのか。
社会教育課長	本年度は柊原地区公民館の耐震診断を実施した。他の地区についても年次的に調査をして耐震化を図っていく予定である。 今回の補正予算を合わせて、市民館全体の耐震化工事を実施する。その

	影響で大ホールは10月から来年の3月まで使用できなくなるが、他の会議室・研修室は利用可能である。今後、市報等で周知を図っていく。
	報告第28号 たるみず学生生活支援宅配便事業実施要綱の制定について
学校教育課長	たるみず学生生活支援宅配便事業実施要綱の制定について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容を説明。
教育長	現在の状況はどうか。
学校教育課長	今日現在で67件の応募があった。200件を予定しており皆様にも周知をお願いしたい。
田原委員	宅配便の金額と内容がどれくらいになるか教えていただきたい。
学校教育課長	送料まで入れて1万円であり、9月と11月の2回の発送を予定している。中身は、1回目が大隅ミートの豚肉や両漁協の加工品、2回目はスープなど垂水市の特産品の詰め合わせを予定しており、学生の使い勝手に配慮した内容である。
	報告第29号 垂水市新型コロナウイルス感染症対応学校給食費臨時支援金支給要綱の制定について
学校教育課長	垂水市新型コロナウイルス感染症対応学校給食費臨時支援金支給要綱の制定について、教育長の臨時代理により決定したことを報告するとともに、その内容を説明。
田之上委員	非常にありがたい支援制度だと思うが、市内の保護者からはあまり感謝の声が聞こえてこない。不思議である。手続きを自分たちでしなくてよかったところが原因なのかもしれない。
福里委員	子どもが二人いるので、この制度はありがたかった。夏休みが短縮された期間も給食が出て、本市ではその分も支援金が支給されたが、市外から園に通っている園児の保護者からは、垂水市は恵まれているとの声を聞いた。
4 その他	
田之上委員	心はればれ学習会、学びの教室の実施状況を教えてもらいたい。
学校教育課長	学びの教室は、36人が登録し、講師11人で8月18日に実施した。心はればれ学習会は8月28日から29日にかけて実施し、28日の学びの教室の参加者

田之上委員	と併せて延べ49人の参加であった。 実施の時期が少し遅かったのではないかと思います。特に垂水小学校は出校日の8月21日までに宿題を終わるようになっていたので、心はればれ学習会の趣旨から考えると、もっと早い時期の開催が良かったのではないかと。
学校教育課長	講師依頼の関係もあるので、検討してみる。
5 委員並びに教育長及び課長報告	委員並びに教育長及び課長報告
教育長	委員並びに教育長及び課長報告に入る。
田原委員	9月6日から7日の台風10号に伴う避難勧告について 大型で強力な台風10号が接近し、避難勧告が出された。コロナ禍の中での避難で、避難所だけでなく親せきの家など安全と思われる場所に避難せよということであったが、結局私たち夫婦は避難所へは行かず自宅に籠っていた。 しかし、今回の台風は前回の台風9号が通過したばかりで、海水を攪拌し鹿児島周辺の海水温が下がっていたことが原因で、当初予想されていた大型台風に成長しなかった。不幸中の幸いで被害が少なかったが、このことがなければ未曾有の災害に見舞われていたことと思う。今回は市長自ら勧告されていたのに従わなかった自分に心が痛んだ。次回は避難所避難も視野に入れて判断したい。 また、水之上小学校はなぜ避難所にしないのかという電話も多く受けた。本城川が氾濫したら、小学校も当然危ないし浸水地域でもあるので避難所にされなかったのだと答えて了解してもらったが、他の避難所まで遠いことや行ったことがない避難所は敬遠されるようだ。最初、市民館や垂水小学校体育館だけであったが、あとで市体育館や中央中体育館も増やされたので避難しやすいと思った。
葛迫委員	北迫正治（しょうじ）原画展 新型コロナウイルス感染拡大の中で、様々な学校行事や地域の行事が中止や縮小され、児童・生徒・地域住民の憩いの場が奪われている。その中で、垂水市図書館において9月1日（火）から9月30日（水）までの1か月間、「北迫正治」原画展が開催されている。 北迫正治さんは、鹿児島大学の学生であった昭和43年、ラグビーの試合で頸椎を痛め、寝たきりの状態になり、その後、筆を口にくわえながら「詩と絵」を描くことに挑戦し続けた人である。 作品は母の好きだったコスモスの花や、子どもの頃大好きだった栗やうんべ（むべ）などを描き、それに詩をつけたもので、今回はその作品の中から「秋の章」と題された31点が展示してある。 不自由な体で描かれた作品一つ一つに、作者の思いとその描かれた時代

田之上委員	時代のノスタルジーが感じられる。こういう時代だからこそ、今の私たち観る側に何かを感じ取ってほしい展覧会だ。 垂水街角美術館「猿ヶ城溪谷を描こう」スケッチ大会 私が館長を務めている垂水街角美術館では、小中学校の児童生徒を対象に10月17日（土）と18日（日）の二日間、森の駅たるみずで「猿ヶ城溪谷を描こう」スケッチ大会を開催する。 垂水街角美術館は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて令和2年度のイベント計画を大きく変更せざるを得ず、市民生活が自粛される中で安心安全な形でのイベントを模索した結果、大自然を使った戸外スケッチ大会を開催することになったものである。 そのスケッチ大会で描かれた作品は、10月27日（火）から11月1日（日）まで垂水市文化会館ロビーで「垂水ジュニア絵画展」として展示する予定である。 今年は第7回和田英作・和田香苗記念絵画コンクールが中止となり、垂水市内の園児から小中学生の絵画作品の展示がなくなってしまった。しかし、ジュニア部門だけでも開催したいとした意見も多く、急遽「垂水ジュニア絵画展」開催を計画した。その「垂水ジュニア絵画展」に、スケッチ大会での絵画作品も同時に展示する予定である。 今回の展覧会がいい方向に向かい、市内外に認知されることを期待したい。 二学期を迎えて 子どもたちは今年の夏休みをどのように過ごしたのだろうか。 イベント等は中止され、お盆など多くの人が集まる状態を控えたりしながらも、父親と行ったカブト虫取り、祖父母を誘ってのそうめん流し、家族みんなでお肉をたくさん食べたバーベキューなどの話を子どもたちから聞くと、各家庭で工夫しながら楽しく過ごした夏休みだったのだろうかと思えて感じた。 中には「どこにも行けなかった。」「何もすることがなかった。」とつまらなそうに言う子もいたが、その子たちも少し日に焼け、成長した姿で二学期を迎えているように感じられた。 8月21日の出校日の朝は、垂水小学校の通学路に立った。やり終えた宿題や作品を抱えて登校していたが、久しぶりの登校だったせいか少し元気のない子もいるように感じた。 それでも、9月1日の始業式の朝は、元気いっぱいに気持ちを切り替えたかのように登校していく小学生の姿を見てうれしくなった。中央中学校では、朝のあいさつ運動に参加したが、元気な声であいさつして校舎へ入っていった。 台風9号・10号の接近のときは子どもたちのことを心配したが、早めの下校など適切な対応がなされたと思う。 行事が多い二学期だが、安全な学校生活が送れるように、学校や教育委員会の皆さんの配慮をお願いします。
-------	--

福里委員	コロナ対応の学校行事（運動会など）について わが家の子どもたちもコロナの影響で家にいる時間が多かったが、それでもサッカーやスイミングなどで真っ黒になって夏休みを過ごしていた。 これから運動会のシーズンとなるが、運動会の在り方もコロナ対応のため制限され、垂水小学校は、かけっこ、ダンス、縦リレーだけの実施で、開会式・閉会式を除いた2時間の予定で人数制限があり、おばあちゃんが大変残念がっている。 私の幼稚園でも人数制限で悩み、話し合った結果、一家族5人までとしたが、いろいろな意見が出て決定がすごく難しかった。 保護者から聞く話では、協和小学校は8時半から12時半まで4時間の日程、柊原小学校では地区と合同で午前中の開催など、取組も各学校でいろいろなようだ。各地域で事情はいろいろあると思うが、子どもたちを中心に考えてもらいたいものである。 また、先日あった垂水小学校の授業参観では、参観者が集中しないように1～4時間目で希望時間の調査を行ったり、受付で検温チェックを実施するなど学校が工夫していたので、安心して授業を見ることができた。
教育長	夢の実現 学びの教室について 有難いことに、先程、田之上委員から「心はればれ学習会」に言及していただいたが、今年は8月27日と28日に「夢の実現 学びの教室」とセットで開催させてもらった。その時に聞こえてきた子どもたちの声を少し紹介したい。 「集中して取り組めた。」、「ほとんど宿題が終わった。」、「すっきりした。」、「分からないところが分かった。」という喜びの声、そして中学生からは、「定期試験でも頑張りたい。」という前向きな感想ももらった。 「来年も参加したい。」という意見もあり、夏休みの宿題が終わらない子どもたちを対象とした勉強会という「心はればれ学習会」の趣旨からすると、いいのかどうか分からないが、いずれにせよ、来たいという子どもは教育委員会にとってウェルカムである。 気になるニュースとして、ユニセフの「日本の子どもの幸福度が先進国の中で最低水準」というものがあつた。学校訪問に行くたびに、校長がよく言われる「子どもたちの自己肯定感の低さ」に原因があると思っている。家庭の教育力も関わってくるが、いかに自己肯定感を高めていくかを施策として打ち出していきたい。
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長 国体推進課長	4課長から8月8日から9月10日までの主な行事等の実施状況について報告するとともに、10月9日までの行事予定についてお知らせした。
6 閉 会	